

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 政策広報課		担当課長名	斎藤 芳朗	
(※)第2期実施計画の事業名	みんなでつくるまち推進会議事業		財務会計上の事業名	委員報酬事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6011	1	財務会計上の短縮番号	105	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち			
	節	第1節開かれた市政の推進			
	項目	項目1市民参画の推進			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市民、市議会、執行機関等との協働によるまちづくりを進める。
事業の対象(誰を、何を)	市民、市議会、執行機関等
事業の手段・方法(どのように)	みんなでつくるまち推進会議の意見を取り入れながら、協働のまちづくりの仕組みづくりを行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市みんなでつくるまちの基本条例 第22条

2 事業費等

区分	26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27	
事業費(千円)	316		0		0		446		-	
主な内訳	委員報酬		316		0		446		-	
									-	
人件費(人・千円)	0.27	2,106	0.24	1,824	0.12	888	0.15	1,140	50.0%	
内訳	正職員	0.27	2,106	0.24	1,824	0.12	888	0.15	1,140	50.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0	-	
支出合計 A	2,422		1,824		888		1,586		48.7%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	2,422		1,824		888		1,586		48.7%	
一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担を伴う事業ではないため。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	企画・立案等の市政運営に関わる事務のため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	みんなでつくるまち推進会議開催	回	3	0	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	会議の設置以降、地域分権制度等により協働のまちづくりについてはある程度認識が深まっている。平成28年度は、昨年度に引き続き、会議のあり方について、漫然とした定期開催を改め議題の必要性に応じて開催するなど、運営方法についての検討を行った。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	今後のみんなでつくるまち推進会議のあり方について、引き続き会議における問題点を整理した上で、より効率的・効果的な運営方法を決定していく必要がある。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	会議の目的を具体化させるため、平成25年度に市長から諮問し、平成26年度に答申を受ける形に変更。
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	会議のあり方を見直した上で、新たな会議運営方法を決定する。
現在抱える課題とその対策	課題 みんなでつくるまち推進会議のあり方について見直し余地がある。 対策 平成28年度における検討をもとに、課題・意見等を整理し、会議運営方法を決定する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	会議の目的である「池田市みんなでつくるまちの基本条例の趣旨に沿ったまちづくりの推進」のため、会議のあり方を見直した上で、今後も適切に運営していく。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 政策広報課	担当課長名	齋藤 芳朗
(※)第2期実施計画の事業名	広報誌等発行事業	財務会計上の事業名	広報誌等発行事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012 1	財務会計上の短縮番号	335
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち	
	節	第1節開かれた市政の推進	
	項目	項目2広報機能の充実	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市政やまちの話題を広く提供し、市政への理解と市民参加を促進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	「広報いけだ」「グラフィけだ」「暮らしの便利帳」の発行、記者クラブへの記事提供など。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和 25 年度～ <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分	26 年度 (決算)	27 年度 (決算)	28 年度 (決算)	29 年度 (予算)	H28/H27	
事業費(千円)	19,566	20,402	20,165	30,436	98.8%	
主な内訳	印刷製本費	15,068	16,172	15,890	30,000	98.3%
	配布委託料	3,578	3,751	3,796		101.2%
	機器借上料	320	479	479	436	100.0%
	人件費(人・千円)	3.00 23,400	2.80 21,280	2.85 18,240	1.32 7,672	101.8%
内訳	正職員	3.00 23,400	2.80 21,280	2.35 17,390	0.92 6,992	83.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0.50 850	0.40 680	-
支出合計 A	42,966	41,682	38,405	38,108	92.1%	
財源	国・府支出金	847	359	727	0	202.5%
	地方債					-
	その他(広報誌広告料)	3,583	3,240	3,240	3,240	100.0%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	15,136	16,803	34,438	34,868	205.0%
一般財源比率 C÷A	35.2%	40.3%	89.7%	91.5%	222.4%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	受益者負担を伴わない事業であるため。					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	広報誌等の印刷及び配布を委託。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	広報誌の編集作業
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	職員による広報誌の編集作業が専門職化しているが、アウトソーシングすることで、異動などがあっても一定水準のものを安定して発行できる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (予定)	目標値 (H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「広報いけだ」の発行	回	13	14	13	12	12
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「グラフィけだ」の発行	回	0	2	0	0	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	「暮らしの便利帳」の発行	回	0	0	1	0	0
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	新聞社への記事提供	回	120	95	88	100	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	記事提供については、政策広報課へ一報を入れてもらう体制づくり、また当日の取材メモだけでなく、行事予定などのお知らせを送って情報提供するよう努めた。また、株式会社サイネックスとの協働発行により「暮らしの便利帳」を発行した。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	広報誌では誌面の企画などさらなる工夫をすることで、効果的な広報効果を得られる。記事提供については記者との友好な関係を築くことで掲載率が向上する。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	より読みやすく親しみやすい広報誌を発行するため、広報誌の編集作業について民間委託の検討、業者選定を行った。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	29年度から民間委託による発行。市政情報を幅広く多くの方に届けるために、継続して実施すべき事業である。	
現在抱える課題とその対策	課 題	いかにして多くの市民に読んでもらえるかが課題である。
	対 策	さまざまな年代の目線に立った広報誌の作成に努める。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	外部委託による市民の反応をみながら、今後も年代、性別にとらわれず、多くの市民に読んでもらえるような広報誌記事の作成に努める。また、定期的「暮らしの便利帳」「グラフィけだ」を改訂していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 政策広報課		担当課長名	斎藤 芳朗	
(※)第2期実施計画の事業名	声の広報作成事業		財務会計上の事業名	声の広報作成事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012	4	財務会計上の短縮番号	350	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち			
	節	第1節開かれた市政の推進			
	項目	項目2広報機能の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	広報誌を読むことのできない視覚障がい者に対して、広報いけだの録音版を提供し、そのニーズに応える。
事業の対象(誰を、何を)	身体障害者手帳(視覚障害)1～6級の視覚障がい者
事業の手段・方法(どのように)	声の広報(録音版「広報いけだ」)作成・配布
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続平成 4 年度～ <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	障害者自立支援法の地域生活支援事業

2 事業費等

区分	26年度(決算)		27年度(決算)		28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27	
事業費(千円)	495		432		432		433		100.0%	
主な内訳	声の広報委託料		432		432		433		100.0%	
									-	
人件費(人・千円)	0.10	780	0.10	760	0.10	740	0.10	760	100.0%	
内訳	正職員	0.10	780	0.10	760	0.10	740	0.10	760	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0	-	
支出合計 A	1,275		1,192		1,172		1,193		98.3%	
財源	国・府支出金	183		359		240		216		66.9%
	地方債									-
	その他(広報誌広告料)									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	904		833		932		977		111.9%	
一般財源比率 C÷A	70.9%		69.9%		79.5%		81.9%		113.8%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担を伴わない事業であるため。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (協働)
上記の内容	読み原稿は政策広報課で作成、録音等の作業は全て委託している。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(予定)	目標値(H30)
				12	12	12	12	12
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	録音版「広報いけだ」の発行	回	12	12	12	12	12
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市ホームページへの音声版広報	回	12	12	12	12	12
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
	選択の理由	毎月1回声の広報を作成し、デジ版を10人に、カセット版を1人に配布。また、ホームページに音声版を掲載することにより、広報活動の充実を図った。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	読み原稿の作り方や記事の分量などに配慮が必要のため、より一層記事の精査を進める必要がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	製作者を市内のボランティアグループ「池田声の図書」に変更し、協働で声の広報を作成している。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	視覚障がい者に対するの広報活動を充実させるため、継続して実施すべき事業である。	
現在抱える課題とその対策	課題	記事の分量に配慮が必要のため、記事の精査が必要。
	対策	利用者の年齢やニーズ等を勘案し、より必要な情報を届ける。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	今後も視覚障がい者に対するの広報活動を充実させるため、幅広い市政情報の提供に努める。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	総合政策部 政策広報課		担当課長名	齋藤 芳朗
(※)第2期実施計画の事業名	まちづくり出前講座事業		財務会計上の事業名	まちづくり出前講座事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6012	5	財務会計上の短縮番号	350
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目2広報機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	市政全般にわたる市民の理解を深め、市民と市の協働によるまちづくりを一層推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	市職員が地域に出向き、市の制度や計画、実施事業等地域の実情に即した広報活動を展開
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 19 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市まちづくり出前講座実施要綱

2 事業費等

区 分	26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27	
事業費(千円)	0		0		0		0		-	
主な内訳	0		0		0		0		-	
人件費(人・千円)	0.10	780	0.10	760	0.10	740	0.06	456	100.0%	
内訳	正職員	0.10	780	0.10	760	0.10	740	0.06	456	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A	780		760		740		456		97.4%	
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	780		760		740		456		97.4%	
一般財源比率 C÷A	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担を伴わない事業であるため。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	専門的知識を有する講師の招致
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	出前講座の内容が行政に関するものは職員でなければ難しい。但し内容によっては専門的知識を有する講師を招致することは可能。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	開催回数	回	16	21	14	20	20
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加人数	人	620	940	492	700	700
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	講座のメニューに入っていないものでも各課で対応できるものは開催してもらうなど、市民が受講しやすいようにしている。また、市ホームページや広報誌で周知を行っている。(平成27年度は500人参加の講座があったため参加人数が一時的に多くなっている。)							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	予算がない事業のため、出前講座への派遣は市職員というのが現状。そのため、どこまで市民の要望に応じきれているのか正確に判断できない。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	消費生活センターや歴史民俗資料館などが単独で実施していた出前講座などを包括した。
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	「池田市みんなで作るまちの基本条例」や「池田市地域分権の推進に関する条例」をはじめ、本市の取り組みに関する啓発促進に向け、実施すべき事業である。
現在抱える課題とその対策	課 題 各課による積極的な情報発信。 対 策 今後も、市ホームページや広報誌で周知を行い、市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	市民により身近に市役所を感じてもらうとともに、まちづくりに対する興味や理解を深めていただくことは、市民との協働のまちづくりを推進する上で必要不可欠と考える。今後も市民が求めるメニューに柔軟に対応できるよう、各担当に働きかける。

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 秘書課		担当課長名	藤井 幸治
(※)第2期実施計画の事業名	ちよっと気ままなティータイム		財務会計上の事業名	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6013	1	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目3大聴機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市民の声を聞き、市民に広く市政への関心を深めていただく。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	月1回自由参加で開催し、市長と市民が直接対話できる機会を設ける。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 27 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)										-
主な内訳										-
										-
人件費(人・千円)		0.57	2,766	0.57	2,732	0.57	2,698	0.17	1,292	100.0%
内訳	正職員	0.17	1,326	0.17	1,292	0.17	1,258	0.17	1,292	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.40	1,440	0.40	1,440	0.40	1,440		0	100.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,766		2,732		2,698		1,292		98.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	2,766		2,732		2,698		1,292		98.8%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		受益負担がないため								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	事前受付や会場設営などの一部事業については可能である。
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	コスト削減できる可能性もあるが、委託に要する手続きや効果等を鑑みると効果は少ないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	参加者数	人	135	83	96	100	100
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		目標値である参加者数100人前後を推移しているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)	目標値である参加者数100人前後を推移しているため。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	市長の就退任に伴い、手法や場所の改善を行ったところ。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成28年度も同内容を継続して実施する。	
現在抱える課題と対策	課 題	毎回参加される市民が多く見受けられ、初めて参加される市民が少ない。
	対 策	広報誌などで周知を行っているが、多くの市民が参加できるよう今後も周知徹底していきたい。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市民が市長と、より身近な対話の機会を設けることを意図して開催している。今後も市長の意向に基づきながら、内容を検討していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室広聴文書課		担当課長名	乾 正澄
(※)第2期実施計画の事業名	市民相談事業		財務会計上の事業名	市民相談事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6013	2・3	財務会計上の短縮番号	200
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目3広聴機能の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	各種相談を通じて市民の声を聴き、適正・迅速に処理することで市民ニーズに応える。あわせて今後の行政事務に反映する。
事業の対象 (誰を、何を)	市民
事業の手段・方法 (どのように)	相談内容を聴き、市で解決できるものは担当部局と連携し、解決を図る。その他については、適切な機関を紹介。民事については広聴文書課で実施している専門相談を利用してもらう。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		26年度 (決算)		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		1,530		1,532		1,594		1,626		104.0%
主な内訳	法律相談委託料	1,504		1,504		1,566		1,598		104.1%
	負担金	6		8		8		8		100.0%
	消耗品費	20		20		20		20		100.0%
人件費(人・千円)		3.00	12,060	3.00	12,000	3.60	14,100	3.60	14,820	120.0%
内訳	正職員	0.30	2,340	0.30	2,280	0.30	2,220	0.30	2,280	100.0%
	再任用短時間勤務職員	2.70	9,720	2.70	9,720	3.30	11,880	3.30	12,540	122.2%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		13,590		13,532		15,694		16,446		116.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()			150		339		170		226.0%
	うち受益者負担 B			150		339		170		226.0%
	一般財源 C	13,590		13,382		15,355		16,276		114.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%		98.9%		97.8%		99.0%		98.9%
受益者負担率 B÷A				1.1%		2.2%		1.0%		194.9%
受益者負担の見直し		<input checked="" type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		平成27年度より、複写機等使用料を受益者負担としている(平成26年度まで情報公開事業に充当)。								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	大阪弁護士会所属弁護士による市民向け法律相談会を毎週火曜日を実施。市民にとって弁護士でなければ解決・判断できない事業について、無料で弁護士による法律相談を受けることのできる機会を設けている。
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市役所であればプライバシーを守ってもらえるという安心感から、相談者の中に対応する我々職員が、民間委託業者でなく、公務員であることを確認される方もいる。相談内容を解決するため市の保有する個人情報に踏み込むことが多々あるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (予定)	目標値 (H30)
				<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	法律相談の利用	人	336	321
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	その他専門相談の利用	人	242	208	203	390	—	
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	一般相談者(窓口等)	人	3,938	2,909	3,336	3500	—	
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				法律相談等専門相談は大変好評であり、受付人数を越える応募がある。また、過去の問合せに対する回答データの集積が、新たな相談に回答するうえで指針となっている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)			
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない)	<input type="checkbox"/> B 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)			
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		最近になって一般相談者数が再び増加傾向にあり、同一の相談内容で繰り返し相談にこられる方、長時間相談される方も目立つ。法律相談委託料は大阪弁護士会が定める基準に基づく金額であり、一般的な法律相談費用に比べ安価である。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	建物相談について年4回開催したが、平成28年度はまったく希望者がなかったため、当該年度をもって廃止とした。1階の市民相談窓口を火・水曜日のみ復活させた。	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	上記のとおり、建物相談のみ廃止。1階市民相談窓口を月曜日から金曜日まで拡充する。	
現在抱える課題とその対策	課題	相談内容が複雑化しており、複数の部署にまたがるものが増えてきている。また民・民の問題であるにも関わらず、行政の介入(仲裁)を求める相談も増加している。
	対策	複雑な相談内容については、相談者の真意を確認し、相談内容を精査して担当課に回答をお願いしていく。各種相談を通じて得た市民の声・知識を庁内(職員)に対して発信し、各課における業務改善につなげていく。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	複雑化する社会において、悩みや不安を持つ市民の相談に適切に対応することは行政の責務の一つである。市民相談をきっかけとして行政は業務の改善を図ることもできる。平成28年度は1階の市民相談窓口を火・水曜日に限り復活させたが、平成29年度以降、人員体制に支障のない限り毎日実施していく。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室広聴文書課		担当課長名	乾 正澄
(※)第2期実施計画の事業名	情報公開事業		財務会計上の事業名	情報公開事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	6014	1	財務会計上の短縮番号	175
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち		
	節	第1節開かれた市政の推進		
	項目	項目4情報公開などの充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市の保有する情報の開示を行い、より公正で開かれた市政を実現することにより市民と市の信頼関係を深める。
事業の対象 (誰を、何を)	市民(市の保有する個人情報及び行政文書)
事業の手段・方法 (どのように)	池田市情報公開条例に基づき行政文書の情報公開を実施。池田市個人情報保護条例に基づき個人情報を含む行政文書の開示を実施。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 16 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市情報公開条例、池田市個人情報保護条例

2 事業費等

区 分		26 年度 (決算)		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (予算)		H28/H27
事業費(千円)		175		171		170		201		99.4%
主な内訳	機器借上料	153		149		148		170		99.3%
	印刷製本費							10		-
	消耗品費	22		22		22		21		100.0%
人件費(人・千円)		0.80	5,400	0.80	5,280	1.00	5,880	1.00	6,080	125.0%
内訳	正職員	0.60	4,680	0.60	4,560	0.60	4,440	0.60	4,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0.20	720	0.20	720	0.40	1,440	0.40	1,520	200.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		5,575		5,451		6,050		6,281		111.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他()	159		7		17		3		242.9%
	うち受益者負担 B	159		7		17		3		242.9%
	一般財源 C	5,416		5,444		6,033		6,278		110.8%
一般財源比率 C÷A		97.1%		99.9%		99.7%		100.0%		99.8%
受益者負担率 B÷A		2.9%		0.1%		0.3%		0.0%		218.8%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		情報公開手数料を受益者負担としている。主に市外の方から徴収している。平成27年度より、複写機等使用料を市民相談事業に充当								

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	個人のプライバシーにあたる個人情報を取り扱うため。また案件ごとに開示・不開示等の判断が必要であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	26 年度 (実績)	27 年度 (実績)	28 年度 (実績)	29 年度 (予定)	目標値 (H30)	
				<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	不服申立てがなかった割合	%	98.6	96.9	100
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	情報公開請求件数	件	86	154	142	—	—		
<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	個人情報開示請求件数	件	56	69	74	—	—		
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果									
<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果									
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		開示にあたっては文書を保有する担当課の協力を得ながら丁寧な説明を心がけており、開示請求者には概ね決定の内容について理解を得ているところ。不服申立てについては、すみやかに情報公開・個人情報保護審査会に諮り、公平・公正な答申をいただけるよう努めていく(平成28年度不服申立て事例なし)。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
選択の理由 (目標値や事業費の推移についても言及して記入)		28年度の不服申立て件数は0件。情報公開請求件数が前年に比べやや減少した。自己情報確認のため、個人情報を含む行政文書の開示請求件数が近年増加している。コストの多くを占める機器借上料は、2階の複写機分である。(平成26年度予算より、情報政策課から移行)。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	年度によって情報公開の件数は変わるが、現状の体制・対応を維持していく。	
現在抱える課題とその対策	課 題	情報公開請求に対する迅速な対応及び不開示部分の適切な判断。開示請求者に納得いただく説明
	対 策	開示請求が出されたとき、正確に文書特定するため、開示請求者及び文書保有担当課職員との調整を行う。条例に基づき行う開示・不開示の判断は、担当課と十分協議したうえで実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	情報公開制度の実施により、市民の知る権利を保障するとともに公正で開かれた市政を実現し、市民と市の信頼関係をより深めることができている。	

事務事業評価シート(平成28年度実施事務事業)

担当部署名	市長公室 秘書課	担当課長名	藤井 幸治
(※)第2期実施計画の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式	財務会計上の事業名	市政功労者表彰式、高額寄付者感謝状贈呈式
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	601	財務会計上の短縮番号	
総合計画の体系	章	第6章行財政改革を推進し希望の持てるまち	
	節	第1節開かれた市政の推進	
	項目		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の目的(どのような結果を得るか)	その功を称え、表彰する。
事業の対象(誰を、何を)	①池田市表彰条例第3条、第4条、第5条、第6条及び第7条に規定する者及び団体 ②市民または市民団体ならびに、本市にゆかりの深い個人または団体で、市政の発展に寄与した者ならびに様々な分野において特筆すべき功績のあった者 ③10万円相当以上の金員又は物品を寄附された方
事業の手段・方法(どのように)	市長が被表彰者に表彰状、き章及び記念品を贈呈する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市表彰条例及び施行規則

2 事業費等

区分	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)		29年度(予算)		H28/H27
事業費(千円)	471	497	676		986		136.0%
主な内訳	賞賜金	444	474		652		137.6%
	消耗品費	12	12		12		100.0%
	印刷製本費	15	12		22		100.0%
人件費(人・千円)	0.28, 2,184	0.38, 2,888	0.38, 2,812	0.38, 2,888	100.0%		
内訳	正職員	0.28, 2,184	0.38, 2,888	0.38, 2,812	0.38, 2,888	100.0%	
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-	
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-	
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-	
	非常勤職員	0	0	0	0	-	
臨時的任用職員	0	0	0	0	-		
支出合計 A	2,655	3,385	3,488		3,874		103.0%
財源	国・府支出金						-
	地方債						-
	その他()						-
	うち受益者負担 B						-
一般財源 C	2,655	3,385	3,488		3,874		103.0%
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A							-
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し						
上記の内容	受益負担がないため						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	書類作成等の表彰式準備にかかると事務作業
見込まれる効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	コスト削減できる可能性もあるが、委託に要する手続きや効果等を鑑みると効果は少ないと思われる。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(予定)	目標値(H30)	
				指標	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市政功労者表彰式被表彰者	人	37	67
値		<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	高額寄附者	人	29	24	24		
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない					
選択の理由				目標を設定した事業ではなく、本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を示す場であるため。					
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)				本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を示すことができている。					

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成24年度～平成28年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成29年度の取組(平成28年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を表する機会として実施していく。
現在抱える課題とその対策	課題 対策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成30年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	本市に貢献された方や団体に対して、池田市としてその功績を称え、謝意を表する機会として実施していく。